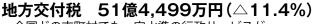
一般会計

歳入 132億8,675万円(△6.1%)

※()数字は前年増減比



全国どの市町村でも一定水準の行政サービスが 受けられるよう国から一定基準により交付されるもの

町 税 25億4,136万円(0.7%)

町民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税等

町_____債 14億 830万円(4.4%)

長期的な借入金

県支出金 10億8,058万円(△15.1%)

特定の事業のために県から支出されるお金

国庫支出金 11億5,765万円(△7.2%)

特定の事業のために国から支出されるお金

諸 収 入 1億5,235万円(△48.1%)

他の収入科目に含まれないもの(延滞金・雑入など)

繰越金 3億1.691万円(8.2%)

前年度からのお金

繰入金 3億1.747万円(104.6%)

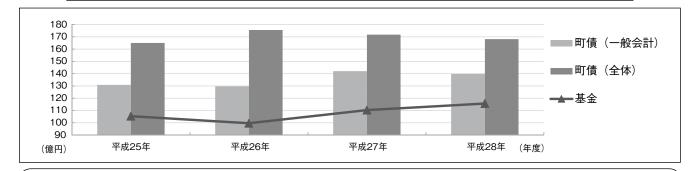
基金の取り崩しや特別会計からのもの

そ の 他 11億6,714万円(△2.6%)

譲与税・分担金・負担金・使用料・手数料・寄附金など

となりました。 額となりましたが、 業等により9, 者等支援臨時福祉給付金給付事 事業等により1 上費では1, 芸村改修事業の終了等に伴い。 0) 歳 消防費では仁淀消防 増 額、 民生費では年金生活 745万円 4 億2,5 4 5 土佐 万円の増 組 和紙 4 5 合改 0 減 商 工

に加え、 業や災害復旧事業等が昨 額となりましたが、 税等、 比べ大きく減少しました。 金では産業振興推進総合支援事 済対策による交付金等、 税 また財産収入や町債が増 の固定資産税・ 国庫支出金では国の経 地方交付税 軽 県支出 车 自 度と 動 813万円の黒字となりました。 一年成28年度一般会計の決算、 大総額は132億8,675 大円、歳出総額は128億4, 100万円で歳入歳出の差し引 でおり、翌年度へ繰り越すべ でおり、翌年度へ繰り越すべ では4,762万円を差 では4,762万円を差 では4,762万円を差



- ◇町債残高は前年度と比べ一般会計では2億8,336万円(2.0%)、町全体(公営企業除く)では3億7,672万円(2.2%)の減少となりました。財政状態を示す実質公債費比率は8.4%で前年度より改善し0.3ポイント下がりました。
- ◇将来の財源不足や支出に備える基金の残高は、前年度と比べ5億4,669万円(5.4%)増額し、残高は 115億7,458万円となりました。

一般会計決算概

2017 12月号